



さくら坂

No.5
輪島市立門前中学校
令和2年7月31日
文責 廣澤

ソラに目を向けて

例年なら今頃は夏休みが始まって1週間が経ち、夏休み真っ直中という時期です。しかし、今年はいつもと違います。夏休みまであと1週間です。これまで体験したことのないような事が次々と起きています。学校では、1か月半の臨時休業、部活動や大会の自粛、諸行事の延期や中止、近頃は熱中症に注意しながらのマスク着用と、新型コロナによる影響は様々なところに及んでいます。このようなコロナ禍の中にあっても、皆様のご理解とご協力、また生徒たちの努力により学校の活動が前へ向かって進められています。1学期を振り返り、保護者・地域の皆様・関係機関の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。これまでどうもありがとうございました。

さて、コロナに加えて今年は各地で自然災害も多く起きています。特に大雨、洪水、土砂災害が目立ちます。先日にも北陸地方の大雨が心配されましたが、幸い大事には至らずほっとしています。顔の半分をマスクで覆い、うつむき加減になりそうな暗い事のみ多く感じる近頃です。でも、こんな時は頭を起こし、夜空を眺めてみるのはどうでしょう。8月にはペルセウス座流星群が見頃です。8月12日の深夜にピークとなるそうですが、1時間に30個前後の流星が現れるそうです。街灯や月明かりの少ない広い場所で15分以上は天空を眺めていれば、流星を見ることができます。きっとたくさん願い事ができますよ。晴れることを祈ります。それと、もう見れないかもしれませんが、今年はネオワイズ彗星というのが話題になりました。新聞やニュースで見たと思います。私は今回見逃したので次回こそと思ったら、次は5千年後に太陽系に接近するとか。星々に興味を持つだけでも何かワクワクしませんか。是非ともこの夏(休み中)、皆さんにも興味を持ってもらえればと思います。

そして、星ではありませんが、宇宙を6年越しで旅している「はやぶさ2」について紹介します。去年2月と7月には、小惑星リュウグウに2度にわたってタッチダウンし、サンプルの採取に成功しました。はやぶさ2が種子島宇宙センターから飛び立ったのが2014年12月3日、地球からおおよそ3億km離れたリュウグウの上空20kmに到達したのが2018年6月27日でした。そして、去年の2度のサンプル採取、リュウグウを離れ、今年の年末に地球に帰還する予定だそうです。20分のジョギングでヒーヒー言っているのとは違いすぎます。

はやぶさ2の意義は3つあり、1つ目は太陽系誕生の謎を解く鍵となる小惑星のサンプルを持ち帰ることだそうです。2つ目は日本の宇宙探査技術の確立、3つ目は科学技術への挑戦することにあるのだそうです。私もニュースや新聞記事を見て、いろいろな「すごいなあ」と思うことがありました。2回目の着陸で、もし失敗したら1回目のサンプルも含めてこれまでの積み重ねを失ってしまうかもしれないという心配があったはず。しかし、何千通りもの失敗例をすべて解決することで、2回目の挑戦をしないという選択肢はなくなったと言います。3億km離れた宇宙空間で作業をするはやぶさ2に地球上から命令を送って届くまでに1000秒(17分弱)かかるそうです。また、はやぶさ2の様子が分かるまでも同じだけかかります。もう現実では終わっていることでも、結果を知るまでさぞかしソワソワすることでしょう。テストが返ってくるのを待つようなものでしょうか。

はやぶさ2を通して、私のような年寄りでもいろいろな興味や疑問がわいてきます。中学生の皆さんこそ、時期を逃さず、なかなか結果の出ないことでも、興味をもってじっくり取り組んでみてもらいたいものです。

おわりに、この夏、交通事故・水難事故にはくれぐれも注意して健康にお過ごしください。

校長 斯波 安夫



部活動を終えて

奥能登大会が終了し、運動部の3年生は引退となりました。部活を終えた各部の主将からの一言です。

奥能登大会 笑顔で終わろう!!

僕は、部活動をしていた約2年半がとても早く感じた。部活をして一番心に残った試合は、僕が2年生の時に出場した3年生最後の県大会出場をかけた試合だ。ツーアウト満塁で、僕が最後のバッターになってしまった。そのとき3年生に「来年がんばれよ」という声をかけてもらい、僕は絶対に県大会に行く決心した。それから、なんとなくやっていた部活も本気で取り組むようになった。だから、この試合は一番の思い出で大切な試合だ。



冬に本気で練習して、4月になってからも集中して練習した。だけど、コロナウイルスの影響でたくさんの大会が中止となった。そんな中、奥能登大会が開催されることになり、最後はみんなで笑って終わったので良かったと思う。

僕は、部活動を通して学んだことがある。それは「時間を大切にすること」「感謝」の2つだ。特に最後の大会は、たくさんの人たちの協力と応援で出来た大会だ。部活動で学んだことを、自分の生活に生かしていきたい。

野球部主将 山岸 直暉

見事逆転 完全燃焼!!

私は、この3年間の部活動を振り返って、たくさんのことを学び様々な面で成長したように感じます。

1年生の頃は、先輩・後輩という上下関係を学びました。3年生が仕事をしていけば、率先して関わるなど自分で何をすればいいのか自主的に動くということも学びました。先輩たちが楽しそうに試合をし、次々と勝っていく様子を見て、「いつか自分も・・・」と憧れました。

2年生の頃は、人数が9人で補欠もおらず、ルールもよくわからないまま試合に出ていました。試合中は、思い通りのプレーがなかなかできずよく泣いていました。3年生最後の大会でも泣いてしまい、今思えばとても申し訳ないことをしたと感じます。精神面でもまだまだ未熟でした。

そして自分たちが主体となり、自分がキャプテンとして新チームがスタートしました。何度も何度も「私がキャプテンでいいのか」と考えました。でもなったからにはやるしかないと思い、精一杯頑張ってきました。輪島中学校と合同チームになり、「北信越を目指す」と聞いたときは本当に驚き、「無理だ」と思っていました。初めの試合は声も出ず、動きもわかっていなくて負けてばかりでした。でも、練習を重ねるうちにチームの雰囲気もよくなり、声も出て勝てるようになっていきました。北信越には行けませんでした。今思えば「北信越を目指す」ことは夢ではなかったと思えます。輪島中と合同になったことで、技術的にも精神的にも成長できたように思います。

3年生になり、1年生を指導しながらの部活動が始まりました。1年生を教えていると、自分たちもできていないところが分かり、初心を思い出すきっかけとなりました。指導ではたくさん悩み苦労しましたが、今と入部した頃の頃を比べると確実に上手になっているので、とてもうれしく思えます。自分たちが1年生だった時も、3年生は今の自分と同じ気持ちだったのかなと思いました。

最後の大会で、私は正直「負けた」と思っていました。エラーが多く、打線もつながらない。しかし、そんな中でたくさんの方々が応援して下さっていることに気がきました。私は「この応援に応えたい」と思いました。そして見事に逆転することができ、本当にうれしかったです。

3年間の部活動を通して、「仲間を信じること」「何があっても諦めないこと」がどれだけ大切なことか強く感じる事ができました。最高の先生方と最高の仲間たち。一緒にソフトボールができたことを誇りに思います。

ソフトボール部主将 宮崎 心愛



試合ができる喜びと楽しさを感じた部活動

今までのことを振り返ってみると、とても大変だったけれど、とても楽しかったとも感じている。理由は2つある。大変だったことの1つ目の理由は人数だ。今は増えたが、私が1年生のころには、3年生が引退したあと2年生2人、1年生3人の計5人だった。なかなか人数がそろわず、カルチャー部から狭間君に入部してもらうことで何とか部は存続した。2つ目は、宿題を提出しなかったり人間関係がうまくいかなかったりということで、2年生になっても練習どころではない日が度々あったことだ。

楽しかった1つ目の理由は試合だ。今までは、試合ができることが当たり前だと思っていた。だけど、コロナで、もしかしたらできなくなるかもしれないという状態になり、試合ができることに対する喜びや楽しいという思いが強くなっていったからだ。2つ目は練習だ。1・2年生の頃は人がいなく、練習のレポーターがあまりなかったけど、1・2年生が入部してくれたおかげで人数を使った楽しい練習ができるようになったからだ。

後輩には、試合のできる喜びや楽しさを忘れずに、だれからも愛されるようなチームになって欲しい。

バスケットボール部主将 山 綱毅



ふるさと再発見 ～今、地域を見直そう～

門前中学校では、毎年3年生が総合的な学習の時間に『門前への提言』をまとめていました。今年度は、来年『總持寺開創700年記念行事』が行われるということで、その行事に中学生として関わることができるものはないか考え、1年生・2年生・3年生がそれぞれ活動を進めています。門前町を訪れるたくさんの人たちに、門前町の魅力を感じてもらい、また来たいと思ってもらえるような地域おこしに協力していきたいと、生徒たちは意気込んでいます。

【1年生】

商店街活性化プロジェクト

總持寺通り商店街の皆さんと一緒に、開創700年行事の時に少しでも多くの人に来店してもらえるような取組を考えていきます。同時に、働くということについても学んでいきます。(キャリア教育)

◇主な活動

- ・總持寺通り会長、總持寺僧侶のお話を聞く
- ・プランターづくり
- ・商店街調べ
- ・チラシづくり
- ・「ぜんのきらめき」に飾る竹灯籠づくり
- ・門前とどろ継承活動



【2年生】

門前町活性化プロジェクト

輪島にはどんな魅力があるのか、門前をたくさんの方が訪れるようにするにはどうしたらいいのか、CM作りを通して考えていきます。HABや広告代理店の方をお招きし、CM作りのポイントや仕事をするうえで大切なことも学びます。(キャリア教育)

◇主な活動

- ・HAB、広告代理店の方を迎えてのCM制作学習会
- ・輪島の魅力を伝えるCMづくり
- ・「ぜんのきらめき」に飾る竹灯籠づくり
- ・門前とどろ継承活動



【3年生】

まるごと体験プロジェクト

修学旅行では、富山・金沢を訪れます。その中で自然体験や伝統工芸体験と比較することで、もう一度輪島の魅力を再発見していきます。また、總持寺での座禅や作務等、自分たちの実体験を生かして門前の魅力を伝えるプロモーションビデオを作成します。

◇主な活動

- ・修学旅行での世界遺産見学、自然体験活動、伝統工芸体験
- ・總持寺での体験活動
- ・「ぜんのきらめき」に飾る竹灯籠づくり
- ・プロモーションビデオ制作



防犯教室 7月13日(月)

もし不審者が無理やり校舎内に入ってきたら…という想定で避難訓練を行いました。不審者を校舎内に入れないよう職員が対応している間に、生徒は安全な教室に無事避難することができました。最後に輪島警察署の方に、犯罪に巻き込まれないためにどのような行動をとればよいかお話しいただきました。



薬物乱用防止教室 7月13日(月)

マルト薬局の星野薬剤師から、薬物乱用の恐ろしさと誘われた時の断り方を学びました。

文化芸術による子供育成総合事業

7月16日(木)

全国のいろいろな学校を回り、吹奏楽の楽しさとすばらしさを伝える活動をしている「オルカウインド」のみなさんが来校し、ミニコンサートと吹奏楽部の指導をして下さいました。ミニコンサートでは、生徒のよく知っているアニメの音楽の演奏もあり、自然と手拍子が起こり大変盛り上がりしました。部活動では、楽器ごとにプロによるマンツーマンの指導を受けることができ、吹奏楽部のメンバーは満足感と充実感でいっぱいでした。



8月の予定



1	土	吹奏楽部定期演奏会(14:00)
4	火	平和集会
5	水	大掃除・ワックスがけ
6	木	通知表渡し(13:30~16:30) ノーゲームデー
7	金	終業式 通知表渡し(13:30~16:30)
11	火	学校閉庁日(~14日)
16	水	ノーゲームデー
17	月	2学期始業式 給食・部活なし(4限)
18	火	給食・部活なし(4限)
19	水	給食・部活なし(4限)
20	木	漢字検定
21	金	生徒会委員会(通常)
23	日	英語検定(二次)
24	月	生活・学習集会
26	水	ノーゲームデー
27	木	生徒会委員会(体育祭に向けて)
30	日	PTA親子除草作業(7:00~)
31	月	3年学カテスト①

9月の予定



1	火	3年学カテスト②
2	水	生徒集会
5	土	体育祭
6	日	体育祭予備日 ノーゲームデー
7	月	振替休業日
12	土	新人大会(バスケット・野球)
14	月	グッドマナーキャンペーン(~18日)
15	火	修学旅行(3年)
16	水	修学旅行(3年) ノーゲームデー
17	木	修学旅行(3年)
18	金	避難訓練(内容は秘密)
23	水	定時退校日 学校集金口座振替日
26	土	能登地区中学校新人大会(野球・ソフト・バスケット) ノーゲームデー
27	日	能登地区中学校新人大会(野球・ソフト・バスケット)
29	火	生徒会委員会

学校閉庁日について

8月11日(火)~8月14日(金)の4日間は、学校閉庁日です。この期間の連絡は、学校ではなく輪島市教育委員会教育総務課(☎23-1171)へお願いします。

門前中学校の最新の情報は、インターネットのホームページでもご覧になれます。また、家庭学習で活用できるコーナーもあります。是非ご覧ください!!

輪島市立門前中学校

検索



クリック